



F-ZTAT™ On-board Programmer For Single Power Supply

FLASH2・FLASHMATE5V1 FM-ONE

取扱説明書 資料編 補足説明

概要

『FLASH2・FLASH MATE 5V1・FM-ONE 取扱説明書 資料編』の更新・修正により、旧バージョンのオンボードプログラマを使用しているユーザ様にとって、一部の CPU において端子設定と参考回路図が過去の『資料編 取扱説明書』と異なる場合があります。

特に、参考回路図通り作っているのに、FLASH MATE 5V1 のバージョンアップによって、初期端子設定に変更が加えられて書き込みが初期端子設定で今まで出来ていた書き込みが行えないといった状況や、参考回路図に変更が加えられたため『資料編 取扱説明書』を見て端子設定を合わせても、書き込みが行えないといった状況が上がります。

本誌では、そのような旧バージョンを使用しているユーザ様へ向けた内容になっております。

なお、最新のバージョンを使用しているユーザ様は最新の『資料編』マニュアルを参考にして下さい。

修正内容

『FLASH2・FLASH MATE 5V1・FM-ONE 取扱説明書 資料編』では、下記内容の更新・修正をしております。

【一部の参考回路図】

- ・ SH-5
- ・ SH-6

【一部の CPU 別個別の案内事項】

CPU 別案内事項の項目の『参考回路図での端子設定』または『参考回路図』に変更があった CPU

- ・ SH7144F
- ・ SH7145F
- ・ H8S/2326F
- ・ H8S/2437F
- ・ H8S/2626F
- ・ H8S/2633F
- ・ H8S/2667F
- ・ H8/539AF
- ・ H8/539SF
- ・ H8/3029F
- ・ H8/3048BF

参考回路図自体が変更になったことによって影響が出る CPU

- ・ SH7065F

【SH-2 参考回路図の修正】

関連する CPU

- ・ SH7144
- ・ SH7145

「参考回路図での端子設定」または「参考回路図」に変更があったCPU

SH7144、SH7145

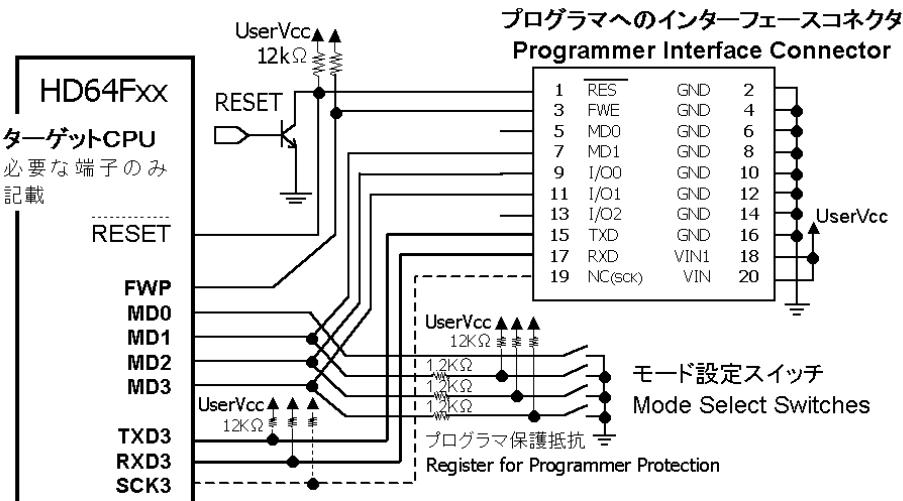
【修正箇所】

参考回路図 SH-1 SH-2

参考回路図での端子設定 L,Z,L,Z,Z,Z L,Z,L,H,L,Z

【修正後の設定】

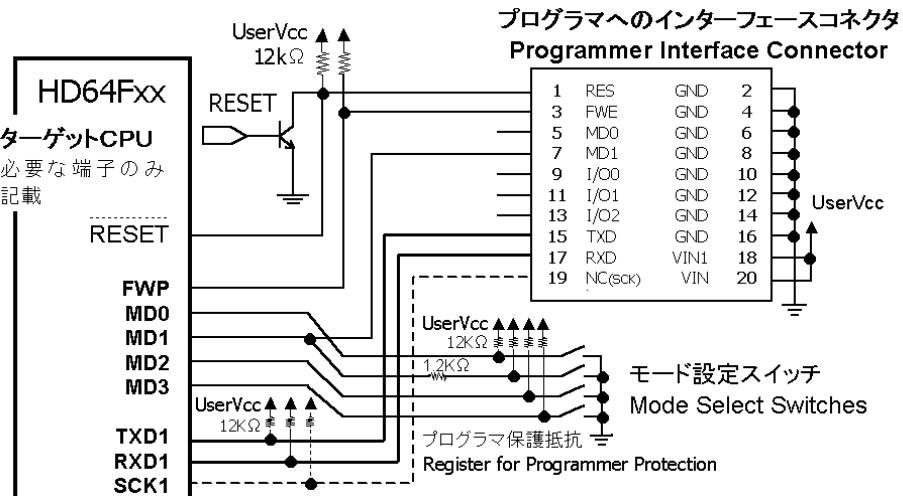
参考回路図 SH-2



参考回路図 SH-2 を使用して書き込みを行う場合は端子設定を『L,Z,L,H,L,Z』に設定して書き込みをして下さい。

【修正前の設定】

参考回路図 SH-1



SH-1 を使用する際は、ターゲット CPU の MD2、MD3 をモード選択スイッチで設定して下さい。

参考回路図 SH-2 と同じ設定で書き込みを行いたい場合は MD2 に H、MD3 に L を入力するようスイッチの設定を行います。

クロックモードの設定について、必ずシステムクロックと周辺クロックを同じ速さにてご利用下さい。

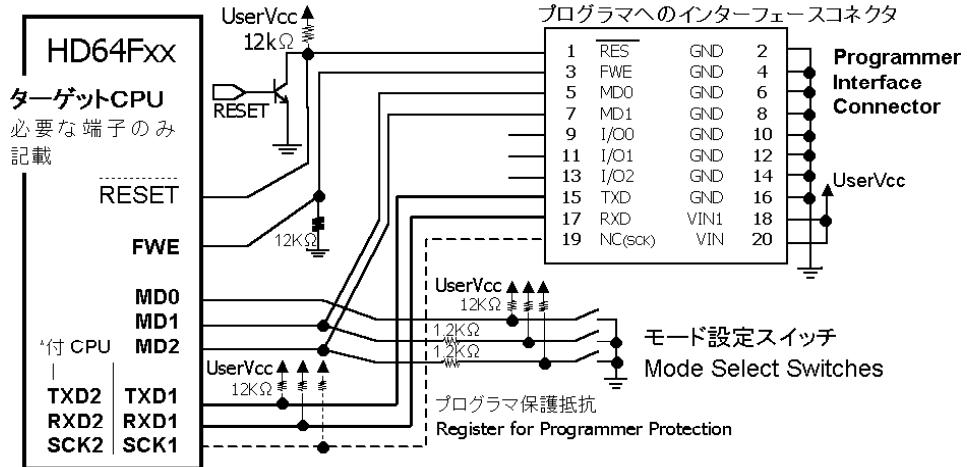
H8S/2326F

【修正箇所】

H8S/2326F が参考回路図の箇所で 8S-3 と 8S-4 の 2 箇所に重複して記述されていたので修正
8S-3 で統一

【修正後の設定】

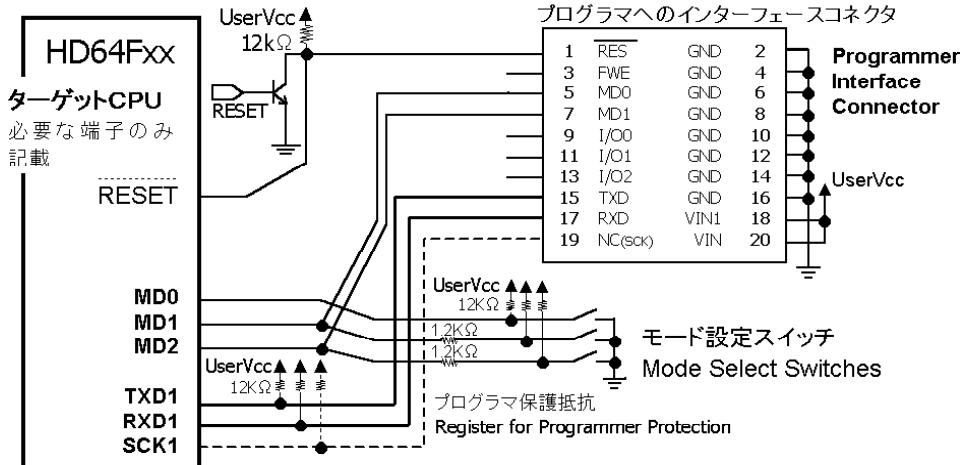
参考回路図 8S-3



FLASH MATE 5V1 の端子設定を『H,H,L,Z,Z,Z』に設定して下さい。
モード選択スイッチの設定は任意です。

【修正前の設定】

参考回路図 8S-4



FLASH MATE 5V1 の端子設定を『L,H,L,Z,Z,Z』に設定して下さい。
但し、ユーザ様側で FWE に『H』を入力する必要があります。
モード選択スイッチの設定は任意です。

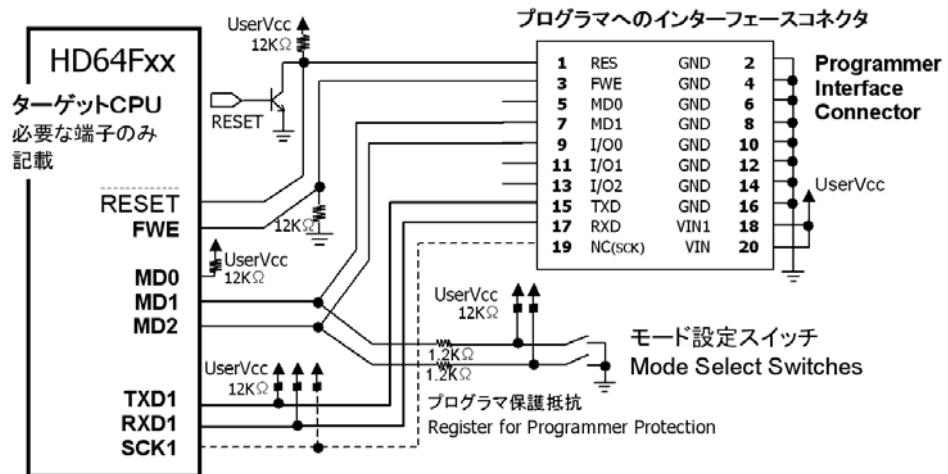
H8S/2437F

【修正箇所】

参考回路図での端子設定 $^{\text{H}, \text{L}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$ $^{\text{H}, \text{Z}, \text{L}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}}$

【修正後の設定】

参考回路図 8S-13



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を $^{\text{H}, \text{Z}, \text{L}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}}$ にします。

【修正後の設定】

端子設定が $^{\text{H}, \text{L}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$ 時での設定

参考回路図 8S-13 のモード端子スイッチにて MD2 に $^{\text{L}}$ が入力されるようにして下さい。

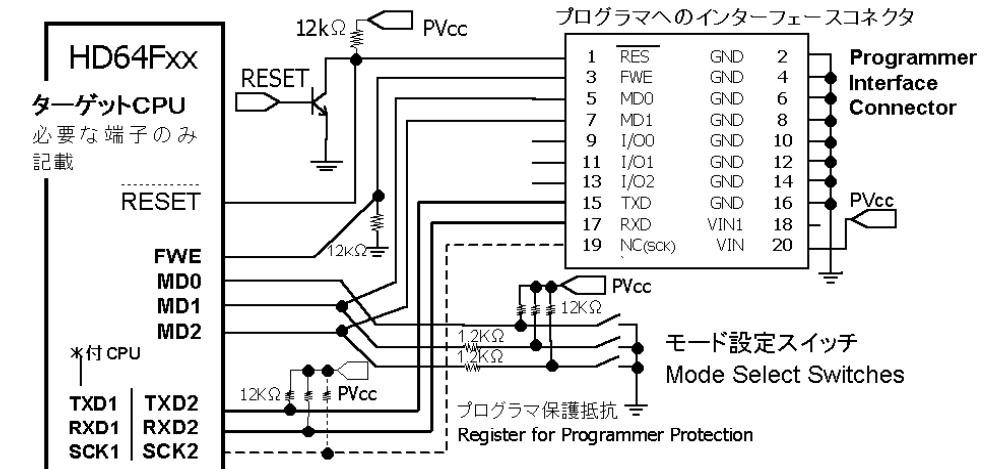
H8S/2626F, H8S/2633F

【修正箇所】

参考回路図での端子設定 $^{\text{H}, \text{Z}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$ $^{\text{H}, \text{H}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$

【修正後の設定】

参考回路図 8S-6



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を $^{\text{H}, \text{H}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$ にします。

【修正前の設定】

端子設定が $^{\text{H}, \text{Z}, \text{L}, \text{Z}, \text{Z}, \text{Z}}$ 時での設定

参考回路図 8S-6 のモード選択スイッチにて MD1 に $^{\text{L}}$ が入力されるように SW を設定して下さい。

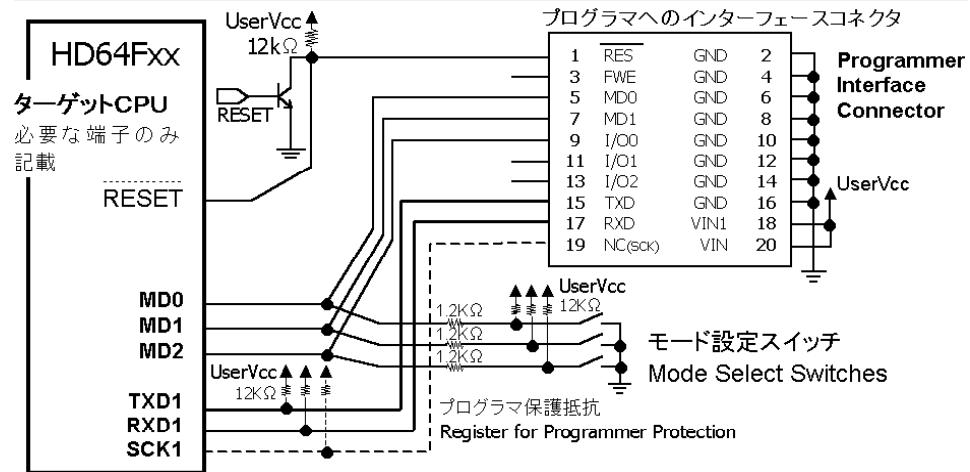
H8S/2667

【修正箇所】

参考回路図での端子設定 $^{\circ}L, Z, L, Z, Z, Z, Z$ $^{\circ}(L), H, H, L, Z, Z, Z$
 $^{\circ}(L)$ は FM-ONE では $^{\circ}Z$ が初期値になっています。

【修正後の設定】

参考回路図 8S-5

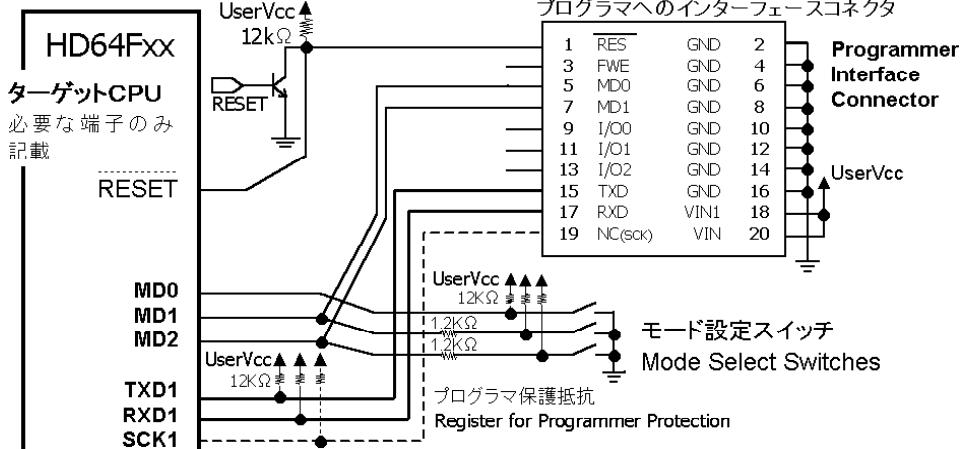


書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を $^{\circ}L, H, H, L, Z, Z, Z$ にします。

【修正前の設定】

端子設定が $^{\circ}L, Z, L, Z, Z, Z, Z$ 時での設定

参考回路図 8S-4



参考回路図 8S-4 のモード選択スイッチにて MD0 と MD1 に $^{\circ}H$ が入力されるように SW を設定して下さい。

H8/539AF、H8/539SF

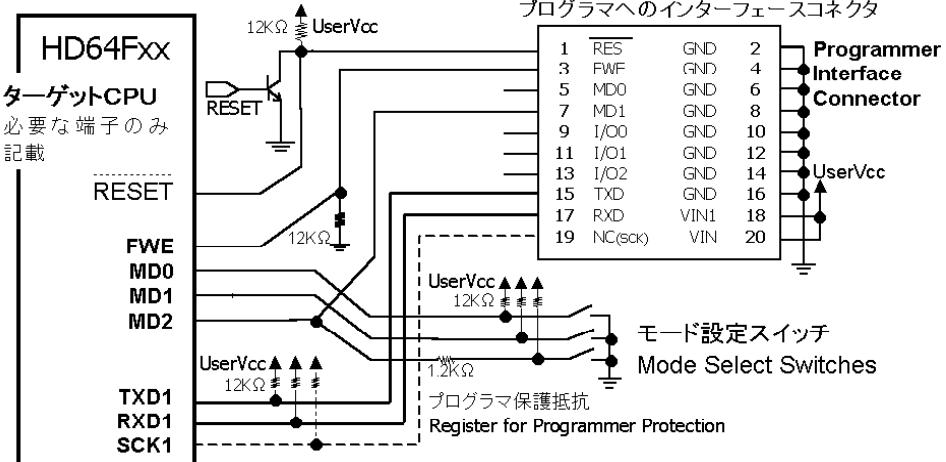
【修正箇所】

参考回路図 300H-2 300H-1

参考回路図での端子設定 $^{\text{H},\text{L},\text{H},\text{Z},\text{Z},\text{Z}}$ $^{\text{H},\text{Z},\text{H},\text{Z},\text{Z},\text{Z}}$

【修正後の設定】

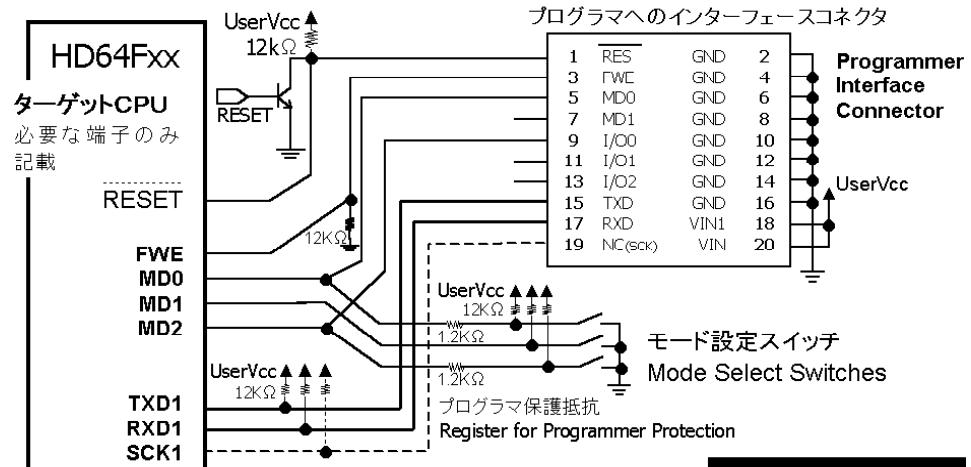
参考回路図 300H-1



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を $^{\text{H},\text{Z},\text{H},\text{Z},\text{Z},\text{Z}}$ にします。

【修正前の設定】 端子設定が $^{\text{H},\text{L},\text{H},\text{Z},\text{Z},\text{Z}}$ 時での設定

参考回路図 300H-2



参考回路図 300H-2 での書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を $^{\text{H},\text{Z},\text{H},\text{Z},\text{Z},\text{Z}}$ に設定します。
参考回路図 300H-1 でも書き込みが可能です。

H8/3048BF

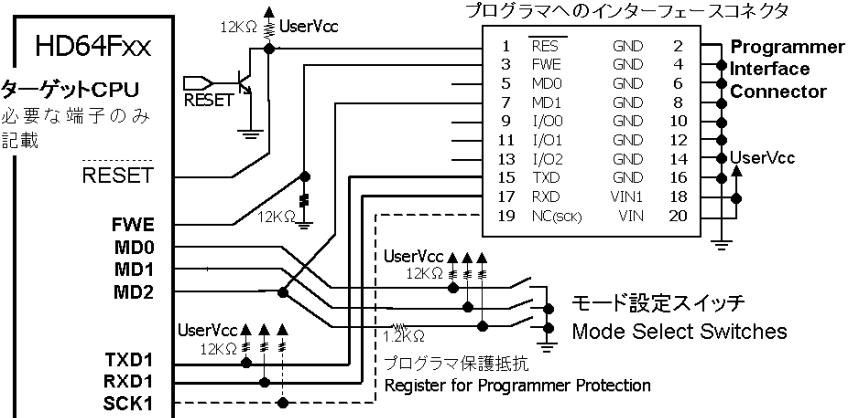
【修正箇所】

参考回路図 300H-2 300H-1

参考回路図での端子設定 **H,H,Z,L,Z,Z** **H,Z,L,Z,Z,Z**

【修正後の設定】

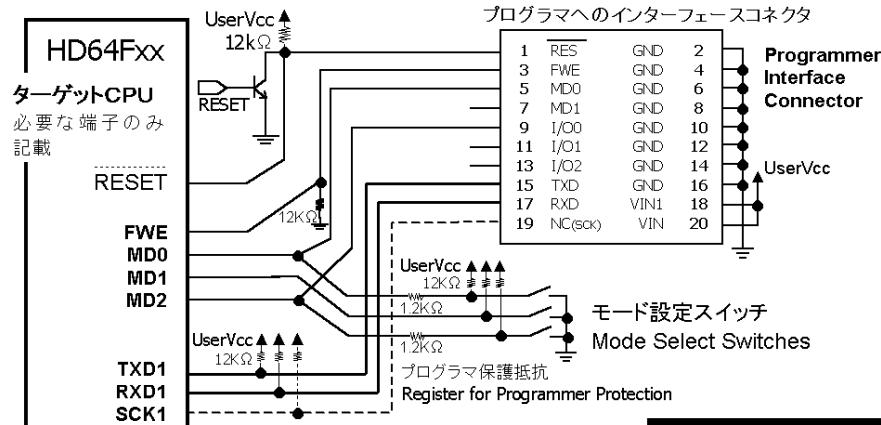
参考回路図 300H-1



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を **H,Z,L,Z,Z,Z** にします。

【修正後の設定】

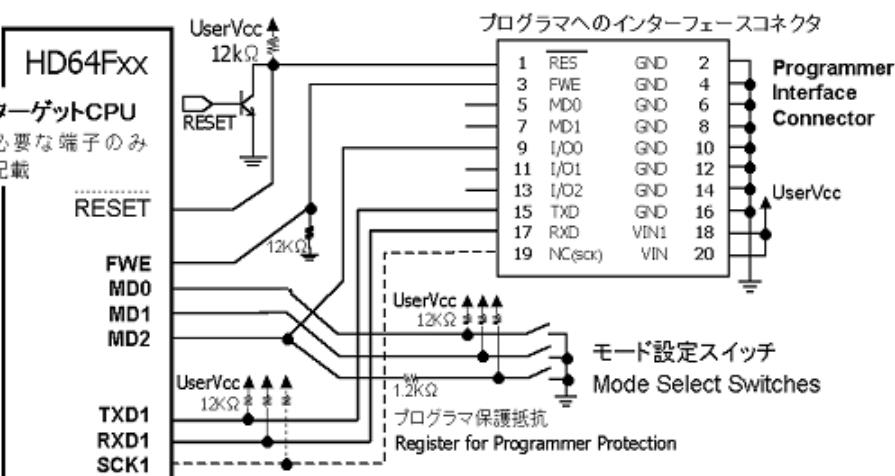
参考回路図 300H-2



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を **H,Z,Z,L,Z,Z** にします。

MD0、MD1 の設定はモード設定スイッチで行います。

端子設定が **H,H,Z,L,Z,Z** での書き込みを行いたい場合には、以下の参考回路図を使用して下さい。



MD0、MD1 の設定はモード設定スイッチで行います。

H8/3029

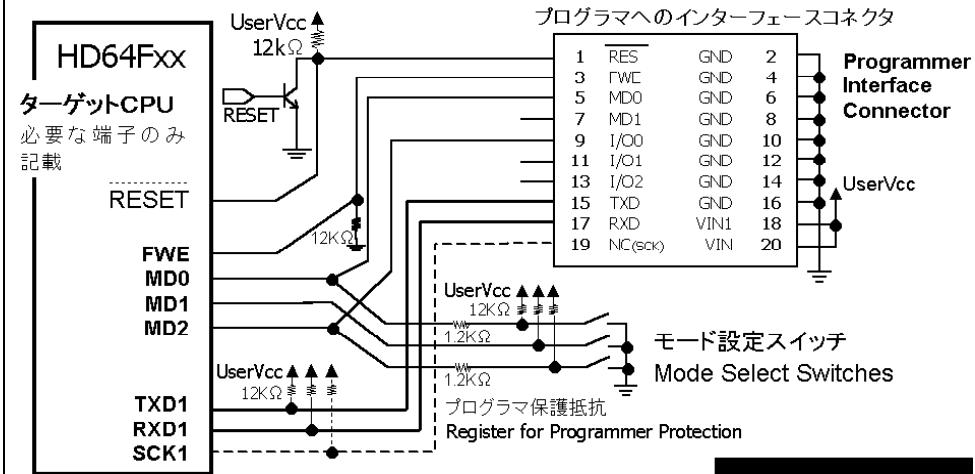
【变更箇所】

参考回路図 300H-1 300H-2

参考回路図での端子設定 H, Z, L, Z, Z, Z H, H, Z, L, Z, Z

【修正後の設定】

参考回路図 300H-2

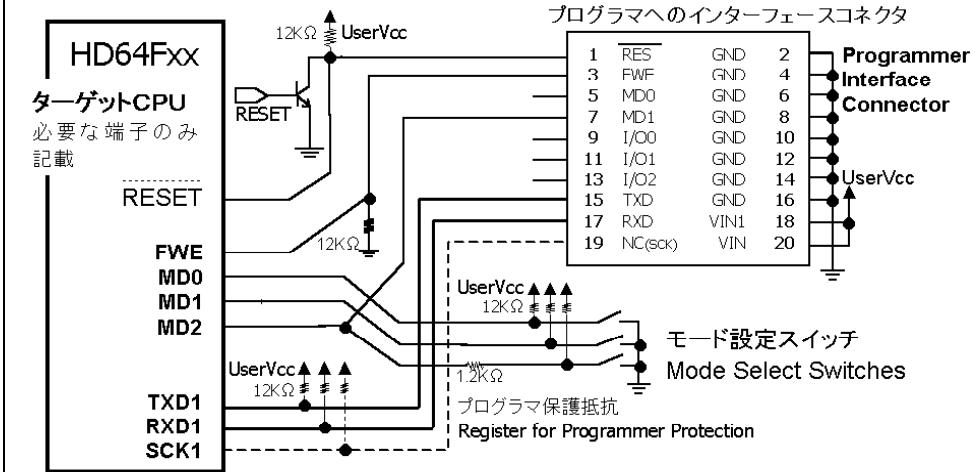


書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を『H,H,Z,L,Z,Z』にします。

【修正前の設定】

端子設定が『H,Z,L,Z,Z,Z』時での書き込みの参考回路図

参考回路図 300H-1



書き込み時には FLASH MATE 5V1 の端子設定を「H.Z.L.Z.Z.Z」にします。

また、MD0, MD1 の設定はモード設定スイッチで行います。

参考回路図自体が変更になったことによって影響が出る CPU

[変更があった参考回路図]

SH-5、SH-6

[影響がある CPU]

SH7065F

SH7065F

[変更箇所]

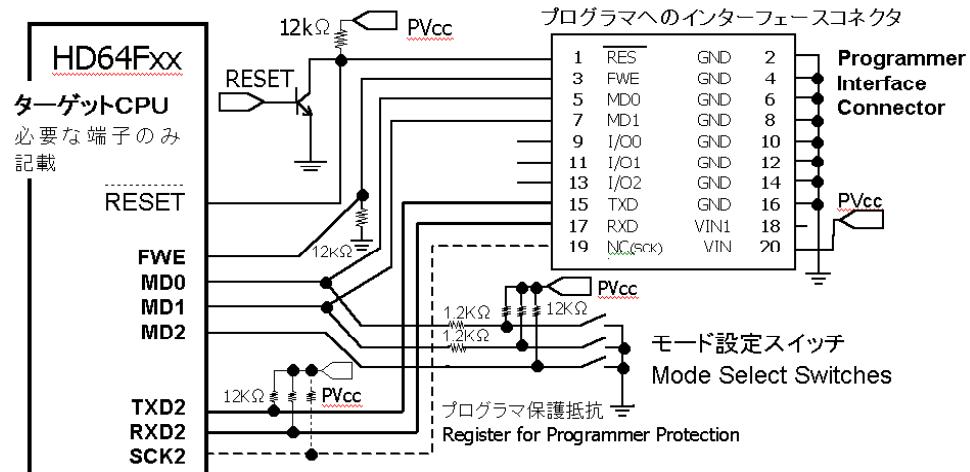
SH7065F の設定項目の『参考回路図での端子設定』には変更が有りません。(SH7065F の場合『H,H,L,Z,Z,Z』)

[修正後の設定]

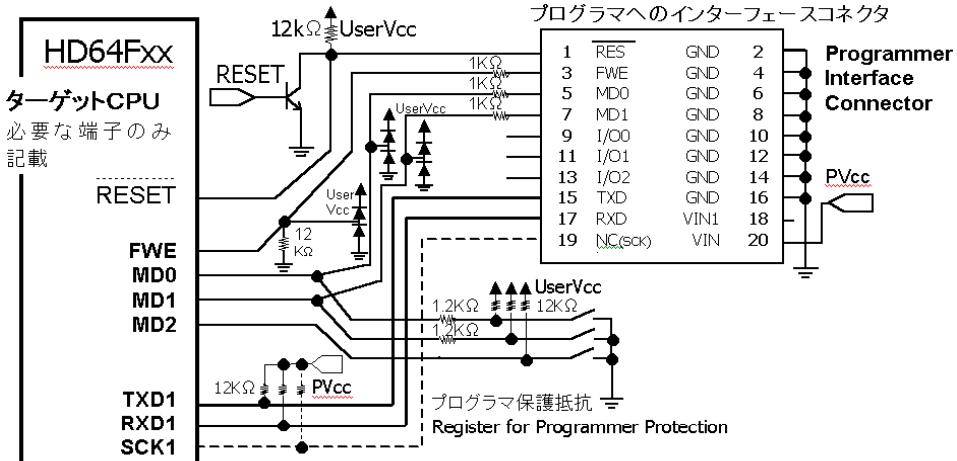
新しい参考回路図にて使用しているユーザ様の場合は通常の『参考回路図の端子設定』の設定で使用できます

[修正後の設定]

参考回路図 SH-5 (旧バージョンの参考回路図)



参考回路図 SH-6 (旧バージョンの参考回路図)



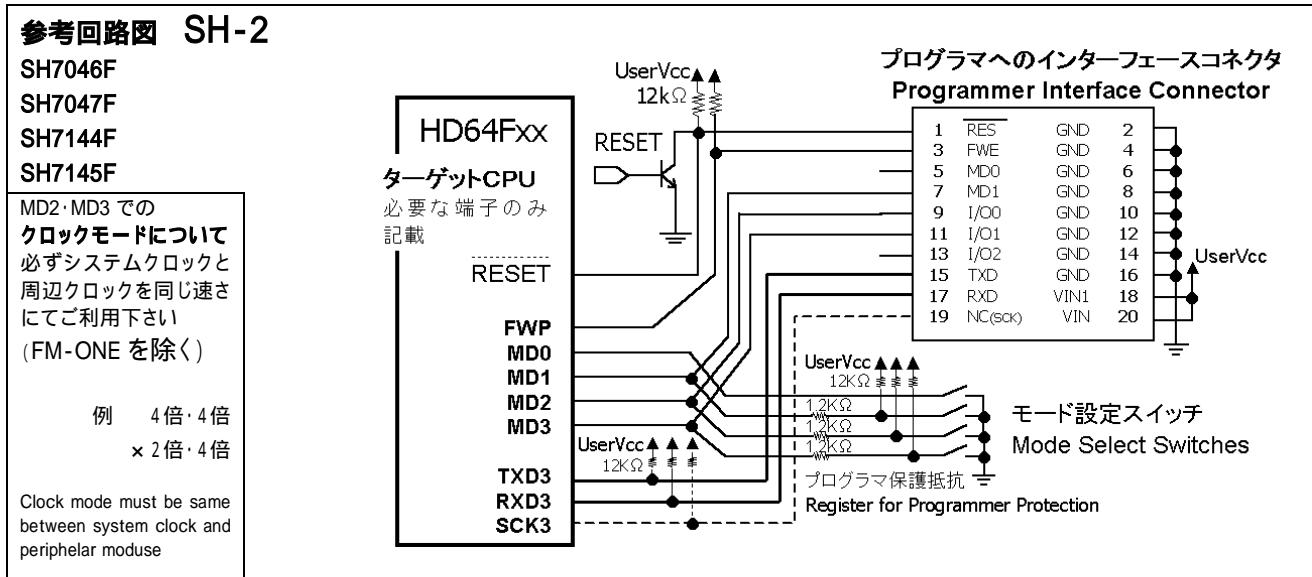
上記の参考回路図にて書き込みを行う場合は、プログラマ側の端子設定を『H,Z,H,Z,Z,Z』にします。(SH-5、SH-6 共通)
MD0、MD2 の設定はモード設定スイッチで行います。

SH-2 参考回路図の修正

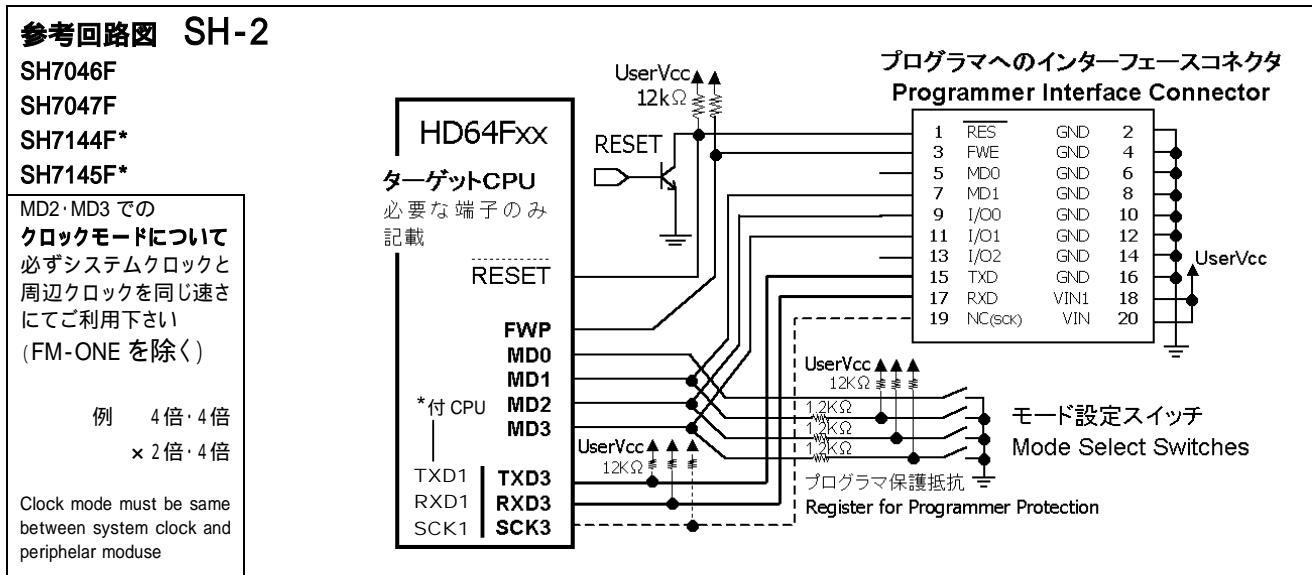
【詳細】

『FLASH2・FLASHMATE5V1・FM-ONE 取扱説明書 資料編 User's Guide』、P7 の「参考回路図 SH-2」の SH7144、SH7145 に対しての接続端子の表記に誤記がありました。

【修正前】



【修正後】



FLASH2・FLASH MATE 5V1・FM-ONE 取扱説明書 資料編 拡足説明

c 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 北斗電子 Printed in Japan 2007年1月5日初版発行 rev 1.0.1 (070309)

発行 株式会社 **北斗電子** e-mail: support@hokutodensi.co.jp URL: <http://www.hokutodensi.co.jp>

TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801 〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目 3 番地 7

HOKUTO DENSİ Co., Ltd. 3-7, Odori-nishi 16, Chuoku Sapporo Hokkaido, 060-0042, Japan

phone+81-011-640-8800 fax+81-011-640-8801 e-mail:support@hokutodensi.co.jp URL:<http://www.hokutodensi.co.jp>